議会日誌

2・15　議会運営委員会
16　広域大和斎場組合議会
23　第一回定例会本会議
24　第一回定例会本会議
3・4　第一回定例会本会議
7　第一回定例会本会議
8　第一回定例会本会議
11　総務常任委員会
教育福祉常任委員会
14　市民経済常任委員会
建設水道常任委員会
15　総務常任委員会
教育福祉常任委員会
16　市民経済常任委員会
17　基地対策特別委員会
22　キャンプ座間米陸軍第一軍団司令部等移転に伴う基地強化に反対する要請行動（外務省・防衛庁）
23　議会運営委員会
教育福祉常任委員会
25　第一回定例会本会議
30　高座清掃施設組合議会
4・19　神奈川県市議会議長会定例会
20　関東市議会議長会定期総会（～21）
25　県央八市議会議長連絡協議会定例会・議長研修会（～26）
27　キャンプ座間米陸軍第一軍団司令部等移転に伴う基地強化に反対する座間市連絡協議会総会
28　議会だより編集委員会
5・12　基地対策特別委員会行政視察…山口県岩国市（～13）

本会議の概要

▽二月二十三日、開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・総括質疑
▽二月二十四日、総括質疑・委員会付託、継続審査案件上程、所管事務調査報告、質疑・討論・採決、追加議案上程（提案説明・質疑・委員会付託・討論省略）採決
▽三月四日、七日、八日一般質問
▽三月二十五日、委員会審査報告・質疑・討論・採決、基地対策特別委員会中間報告、追加議案上程（提案説明・質疑・委員会付託・討論省略）採決、閉会

なお、総括質疑と討論は、次の議員が行いました。

総括質疑（二月二十三日）
中澤邦雄（日本共産党）、竹市信司（市民連合）、（二月二十四日）飛田昭（市政クラブ）、山本愈（政和会）、小野たづ子（公明党）、討論（三月二十五日）
中澤邦雄（日本共産党）、小野たづ子（公明党）、竹市信司（市民連合）、池田徳晴（市政クラブ）、鈴木健治（政和会）、安斉昭雄（自民党明政会）

議会を傍聴しましょう

議会の活動を知っていただくため、多くの皆様の傍聴をお願いします。
市役所七階の議場入口正面で受付をしています。
（各委員会の傍聴は、六階の議会事務局へお申し出ください）

第2回定例会の開催予定

5月30日(月)　本会議（総括質疑）
6月3日(金)　本会議（一般質問）
6日(月)　本会議（一般質問）
7日(火)　本会議（一般質問）
9日(木)　総務常任委員会
教育福祉常任委員会
10日(金)　市民経済常任委員会
建設水道常任委員会
13日(月)　基地対策特別委員会
16日(木)　議会運営委員会
20日(月)　本会議（討論・採決）

・お問い合わせ　☎252－8872（直通）
・市のホームページでも、市議会情報を提供しています。（本会議会議録も閲覧できます。）
アドレス http : //www.city.zama.kanagawa.jp/

キャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部等の移転に反対する署名活動を実施

議会では、四月十二日に開催された「キャンプ座間米陸軍第一軍団司令部等移転に伴う基地強化に反対する座間市連絡協議会役員会」の決定を受け、議員及び市長、助役などが参加し署名活動を実施しました。日時、場所は左記のとおり。

4・18　座間駅、さがみ野駅
19　相武台前駅、小田急相模原駅
29　緑化まつり会場（かにが沢公園）
5・4　大凧まつり会場（相模川河川敷）
5　大凧まつり会場（相模川河川敷）

新収入役に中戸川達夫氏

第一回定例会最終日の三月二十五日、横谷光男収入役の任期満了に伴い、県立循環器呼吸器病センター総務局長の中戸川達夫氏（五十七歳・栗原中央在住）を収入役に選任することについての議案が市長から提出されました。

市議会では、同氏を適任者として、市長の選任に全員賛成で同意しました。中戸川収入役の任期は、平成十七年四月一日から平成二十一年三月三十一日までです。

陳情の結果

三月定例会各常任委員会で審議しました陳情は次のとおり決まりました。

◎採択

陳情第8号　児童扶養手当の減額に関する意見書の提出についての陳情

陳情第10号　学童保育の充実を求める陳情

陳情第11号　神奈川県最低賃金改定等についての陳情

◎不採択

陳情第5号　国に対し「私立高等学校等への助成金の一般財源化に反対し、国庫補助金の増額を要望する意見書」の採択を求める陳情

陳情第9号　「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情

◎継続審査

陳情第13号　定率減税縮小・廃止の中止、消費税の大増税をやめさせるための意見書採択を求める陳情

陳情第14号　郵政の民営化に反対し、国民本位の郵便局サービスの拡充を求める意見書採択を求める陳情

陳情第15号　確実な税源移譲、交付税の拡充による自治体財政の確立、公務・公共業務を後退させる「市場化テスト」反対、地域経済等に悪影響を及ぼす「給与見直し」に反対する意見書採択を求める陳情

陳情第16号　ライフレビュー広野台マンションの建設に反対する陳情

請願・陳情の提出についてお願い

第二回（六月）定例会で、審査をするための請願・陳情は五月十九日（木）までに議会事務局に提出していただきますようお願いいたします。

市長の施政方針（要旨）

はじめに

昨年の中越地震では家族や家屋を失い、さらに豪雪と、非常に厳しい生活を余儀なくされた方がいらっしゃいます。また、スマトラ沖地震では、死者・行方不明者が約三十万人に及ぶ大災害でした。心より一日も早い復興をお祈りいたします。さて、南関東直下型地震が三十年以内に発生する確率は七〇％といわれています。改めて、より一層の対応の必要性を認識したところですが、ここに平成十七年度の施政方針を申し上げます。

市政の現況報告

大きな行政課題である市税等歳入未済額の解消については、管理職による滞納整理、収納嘱託員による戸別訪問、休日納税窓口の開設をするなどの方策を講ずることにより、市税等の収納率向上に取り組みました。その結果、一定の成果が得られました。

行政改革については、リサイクルプラザの開設、行政評価における市民アンケートの実施、定員管理の適正化などによりその目標額の三億円を達成する見込みとなりました。

基地対策については、「キャンプ座間米陸軍第一軍団等移転に伴う基地強化に反対する座間市連絡協議会」を昨年十一月に発足、内閣総理大臣及び外務大臣等への反対の要請や市内十一カ所に懸垂幕等を掲示しました。なお、厚木基地関連の航空機騒音については、県及び周辺七市で防衛庁や厚木基地等へ再度中止の要請を行いました。

防災関係については、寝たきりや認知症高齢者の二次的避難場所として市内三カ所の特別養護老人ホームと協定を結ばせていただきました。

環境対策については、昨年六月に開館したリサイクルプラザは、八カ月で一万二千人を超える来館があり、四回の展示即売会で二百五十五点の家具類を販売した結果、前年比四十四トンの粗大ごみの減量が図れました。また、市民皆様のご協力を賜り収集体制の見直しを行った結果、資源物が五百二十九トン増加し、燃えるごみを六百九トン削減することができました。

ＩＳＯ一四〇〇一については、昨年十月の更新審査に図書館など十三の出先施設を追加したところ、引き続き認証事業所として認められました。今後も市立小・中学校等への取り組みを調整していきます。

新年度予算の重点目標

総合計画の後期基本計画に基づく施策・事業を着実に推進し、市民福祉の向上と個性ある魅力的な「みなぎる活力とやすらぎが調和するときめきのまち」を実現するため、五つの重点目標を掲げました。

①市民情報・市民参加・行政改革の推進
②安全・安心な生活環境の推進
③福祉・医療・保健の推進
④教育・文化の推進
⑤住み、働き、憩うまちの活性化について

新年度の予算編成方針

三兆円規模の税源移譲を目標に掲げた国の三位一体改革は、二兆四千百六十億円にとどまり、しかも重要な部分が先送りになっています。また、市債償還の負担増や扶助費等の義務的経費の増加が見込まれることなど、地方財政は非常に厳しい運営を強いられています。このような状況の中、さらに情報ＩＴ化の推進、少子高齢化対策、環境問題、防災対策などの重要な行政課題が山積みとなっております。したがって、今後ともなお一層の行政改革を積極的、かつ、計画的に進め、財源の安定確保と歳出の抑制など、予算全体の徹底した見直しを図り、事業の費用対効果と行政評価に積極的に取り組み、Ｐ・Ｄ・Ｃ・Ａ（プラン・ドゥ・チェック・アクション）サイクルを強化し、予算に的確に反映させた市民にわかりやすい予算を目指すことが重要であります。

また、職員についても慣例主義、領分主義、問題先送り主義的感覚を脱却し、しっかりと地に足をつけ、たえず行政改革に取り組み、適正な行財政運営を図るとともに、地方分権化の個性あるまちづくりへ職員一人一人が知恵を出し合い、切磋琢磨し、さまざまな政策確立を図り、その具現化へ市民とともに進めたいと考えております。

新たな組織体制をもって総合計画に基づく施策・事業を着実に推進してまいる所存です。議会におかれましても相互牽制のもとで一層のご指導、ご協力をお願いします。